

肱南地区観光施設等 再生可能エネルギー導入基本計画 概要版

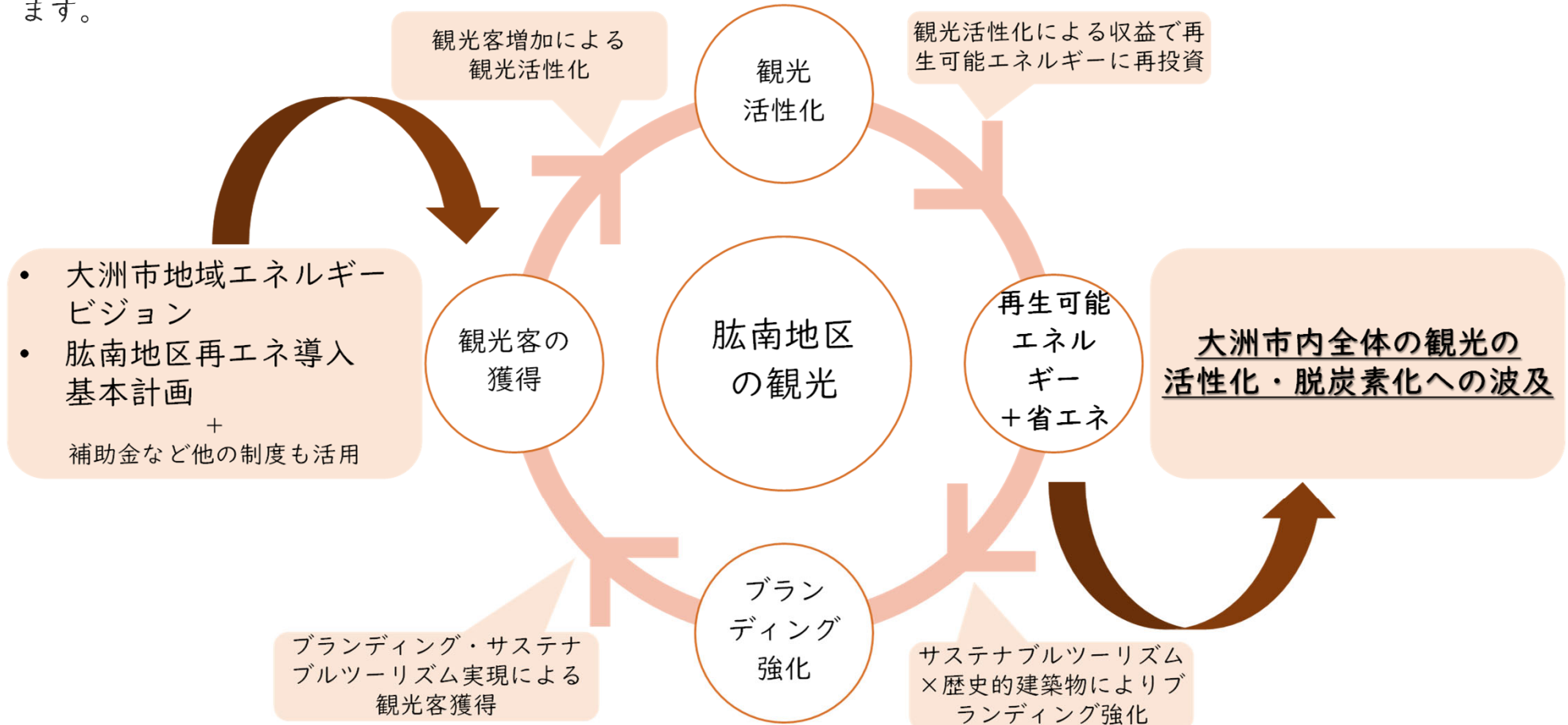
2024年3月

大洲市



1. 肱南地区再エネ導入基本計画の趣旨

- 肱南地区は歴史的建造物が残る大洲市における観光の重要なエリアです。大洲市観光まちづくり戦略ビジョンにおいてはターゲットをインバウンド市場とし、欧米豪の旅慣れた知的旅行者を第1ターゲットとして据えています。
- カーボンニュートラル化の潮流があることから最大限の省エネルギー化を図った上で再生可能エネルギーを活用した取組を実施することでサステナブルツーリズムの実現を目指し、より多くのインバウンド（国内）観光客の獲得・肱南地区のブランディング強化・観光活性化ができる好循環を目指します。
- 肱南地区を先行的な取組を実施するエリアとして位置付け、大洲市内全体の観光の活性化・脱炭素化への波及を図ります。



2. 肱南地区における再エネ導入の取組の概要

～取組の全体像～



2. 肱南地区における再エネ導入の取組の概要

1) 観光・滞在施設の創エネ・省エネ

✓ 観光・滞在施設の創エネ・省エネ化によるサステナブルツーリズムの実現

取組概要

- 観光・滞在施設の意匠性を阻害しないような創エネルギー設備として建材一体型の太陽光発電設備導入や、省エネルギー改修として高効率空調化、LED化、高断熱化等を実施しサステナブルツーリズムの実現を目指します。

大洲市で想定される実施場所

- 大洲市が所有する観光・滞在施設

大洲市で想定される実施主体

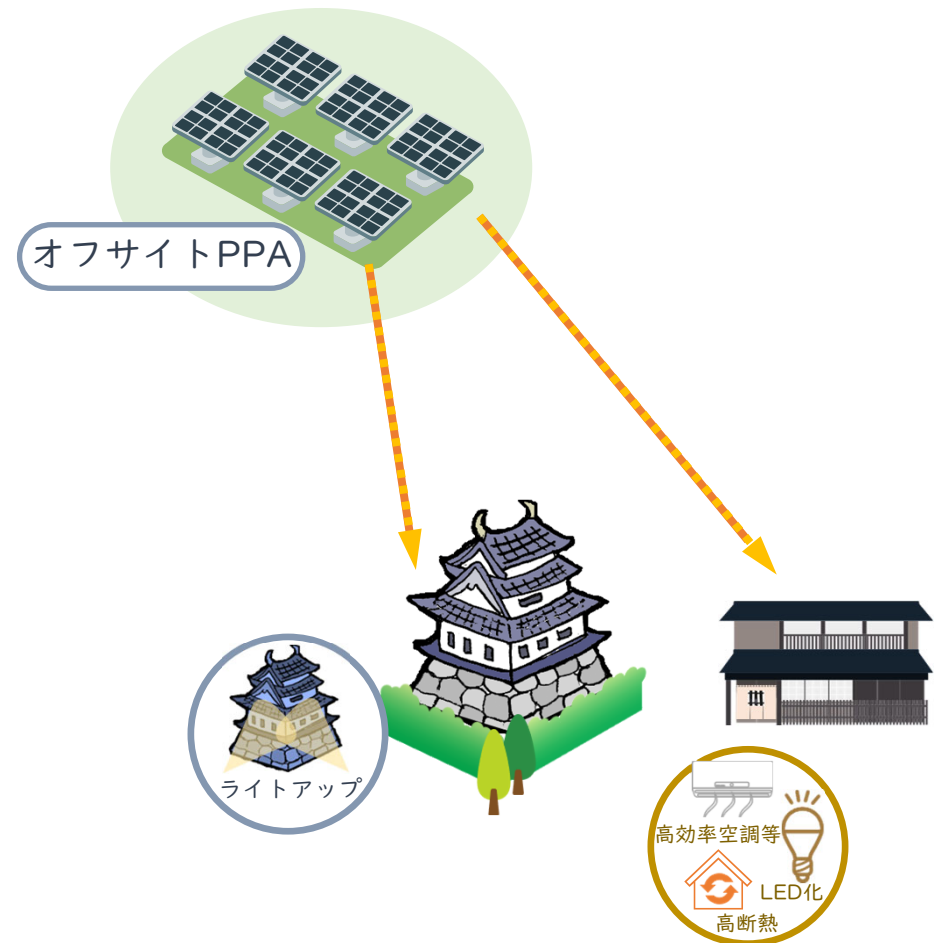
- 大洲市
- キタ・マネジメント
- バリューマネジメント



✓ 遠隔地からの再生可能エネルギー電力の供給によるサステナブルツーリズムの実現

取組概要

- 再生可能エネルギー電力を遠隔地から供給すること（オフサイトPPA）により、大洲城のライトアップをはじめとした観光・滞在施設の再生可能エネルギー化によるサステナブルツーリズムの実現を目指す取組です。



大洲市で想定される実施場所

- 大洲市が所有する公用地（空き地）

大洲市で想定される実施主体

- 大洲市
- キタ・マネジメント
- バリューマネジメント

2. 肱南地区における再エネ導入の取組の概要 3) 電動モビリティ・シェアサイクルの導入

✓ 電動モビリティ・シェアサイクル導入による観光利便性、周遊性の向上

取組概要

- 観光の拠点となる場所に電動モビリティ・シェアサイクルを設置し観光の利便性、周遊性の向上を目指します。

大洲市で想定される実施場所

- 伊予大洲駅前、大洲城～ポコペン横丁
- 等の肱南地区全域

大洲市で想定される実施主体

- 大洲市、サービス提供事業者

導入の際に留意すべきポイント

- 工事の実施における建設機械の騒音により、周辺的生活環境に影響を及ぼす可能性があります。
- 歩行者や利用者の安全確保の観点より、電動モビリティやシェアサイクル通行空間の整備が必要となります。
- 歩行者や運転者の安全性に配慮した機器選定を行う必要があります。



✓ 鵜飼漁や定期運航船のEV化によるサステナブルツーリズムの実現

取組概要

- 伝統的な鵜飼漁や定期運航船をEV化することでサステナブルツーリズムの実現を目指します。

大洲市で想定される実施場所

- 肱川流域

大洲市で想定される実施主体

- 一般社団法人キタ・マネジメント

導入の際に留意すべきポイント

- 屋形船の船外機を電動化する場合は社会実装事例が少ないため、導入コストが高くなる可能性があります。
- 航続距離が短いため、充電時間の確保もしくは交換式バッテリーの併用が必要となります。



✓ BEVの利便性向上、普及促進によるサステナブルツーリズムの実現

取組概要

- 観光の始点となる伊予大洲駅や観光拠点にEVステーションを設置することでBEV※1の利便性を向上し伊予大洲駅から肱南地区までの移動手段が限られる課題を解決すると共に、BEVの利用・普及の促進を行うことでサステナブルツーリズムの実現を目指します。

※1：バッテリー式電気自動車を指します（Battery Electric Vehicleの略称）。

大洲市で想定される実施場所

- 伊予大洲駅前、まちの駅あさもや、臥龍山荘、大洲家族旅行村オートキャンプ場等の観光施設

大洲市で想定される実施主体

- 大洲市、EV充電システム提供企業

導入の際に留意すべきポイント

- 太陽光発電設備併設の場合は、反射光により周辺的生活環境に影響を及ぼす可能性があります。
- 工事の実施における建設機械の騒音により、周辺的生活環境に影響を及ぼす可能性があります。



✓ 市内循環バスの利便性向上とEV化によるサステナブルツーリズムの実現

取組概要

- 市内を循環するバスを観光客にとっても利便性のよいものにするとともに、EV化を図ることでサステナブルツーリズムの実現を目指します。

大洲市で想定される実施場所

- 伊予大洲駅前～肱南地区

大洲市で想定される実施主体

- 大洲市、公共交通事業者、自動運転サービス提供事業者

導入の際に留意すべきポイント

- 自動運転実施の場合は、歩行者や利用者の安全確保の観点より、通行空間の整備が必要となります。



2. 肱南地区における再エネ導入の取組の概要

7) 再エネ案内サインの導入

✓ 再エネ案内サイン導入による利便性向上およびサステナブルツーリズムの実現

取組概要

- 意匠性を阻害しない太陽電池を封入した自家発電する案内サインを導入し、現状の表記ゆれがある案内サインの統一を図ると共に、利便性向上とサステナブルツーリズムの実現を目指します。

大洲市で想定される実施場所

- 肱南地区全域

大洲市で想定される実施主体

- 大洲市

導入の際に留意すべきポイント

- 工事の実施における建設機械の騒音により、周辺的生活環境に影響を及ぼす可能性があります。
- 反射光により周辺的生活環境に影響を及ぼす可能性があります。



✓ 観光情報サイネージ搭載のスマートポールによる観光利便性および周遊性の向上

取組概要

- Wi-Fi、各種センサー、観光情報サイネージ等を搭載したスマートポールを設置し、サイネージを活用したエネルギーの見える化、観光の利便性、周遊性、防犯性の向上を目指します。

大洲市で想定される実施場所

- 肱南地区全域

大洲市で想定される実施主体

- 大洲市、サービス提供事業者

導入の際に留意すべきポイント

- 工事の実施における建設機械の騒音により、周辺的生活環境に影響を及ぼす可能性があります。
- 反射光により周辺的生活環境に影響を及ぼす可能性があります。



2. 肱南地区における再エネ導入の取組の概要

9) ソーラーカーポートの導入

✓ ソーラーカーポートの導入による観光・滞在施設への再エネ電力供給

取組概要

- 観光用駐車場にソーラーカーポートを設置し、観光・滞在施設に再エネ電力を供給することにより、サステナブルツーリズムの実現を目指します。

大洲市で想定される実施場所

- 市所有の駐車場（観光第一駐車場等）

大洲市で想定される実施主体

- 大洲市

導入の際に留意すべきポイント

- 工事の実施における建設機械の騒音により、周辺的生活環境に影響を及ぼす可能性があります。
- 反射光により周辺的生活環境に影響を及ぼす可能性があります。
- 太陽光発電設備や蓄電池の稼働に伴う騒音により、周辺的生活環境に影響を及ぼす可能性があります。
- 歴史的建造物が残るエリアであることから、まちづくりの観点に配慮した慎重な導入を行う必要があります。
- 大型車両が入る駐車場への導入においては接触事故が起こらないよう安全に配慮する必要があります。



2. 肱南地区における再エネ導入の取組の概要 10) 将来的なペロブスカイト太陽電池の導入

✓ 軽量ペロブスカイト太陽電池による新規再エネ導入実現

取組概要

- 柔軟性が高く意匠性を阻害しにくい軽量なペロブスカイト太陽電池が商用化された将来に、これまで導入ができなかった箇所への再エネ導入を行いサステナブルツーリズムの実現を目指します。

大洲市で想定される実施場所

- 大洲城、NIPPONIA HOTEL、臥龍山荘等の観光施設

大洲市で想定される実施主体

- 大洲市、施設運営事業者

導入の際に留意すべきポイント

- 工事の実施における建設機械の騒音により、周辺的生活環境に影響を及ぼす可能性があります。
- 反射光により周辺的生活環境に影響を及ぼす可能性があります。



3. 肱南地区再エネ導入基本計画のロードマップ

- 1) 観光・滞在施設の創エネ・省エネ、2) 遠隔地からの再エネ電力の供給については、管理運営主体の見通し・サステナブルツーリズムへの寄与度・観光客への訴求度・脱炭素化への寄与度から優先順位が高いと考えられます。この2つの取組については次年度から実現可能性調査を進めることが可能であることから、本計画においても優先して検討を進めます。
- その他の取組についても段階的に検討を進めることで、サステナブルツーリズムの実現を図ります。

優先順位指標

- ✓ 管理運営主体の見通し
- ✓ サステナブルツーリズムへの寄与度
- ✓ 観光客への訴求度
- ✓ 脱炭素化への寄与度

